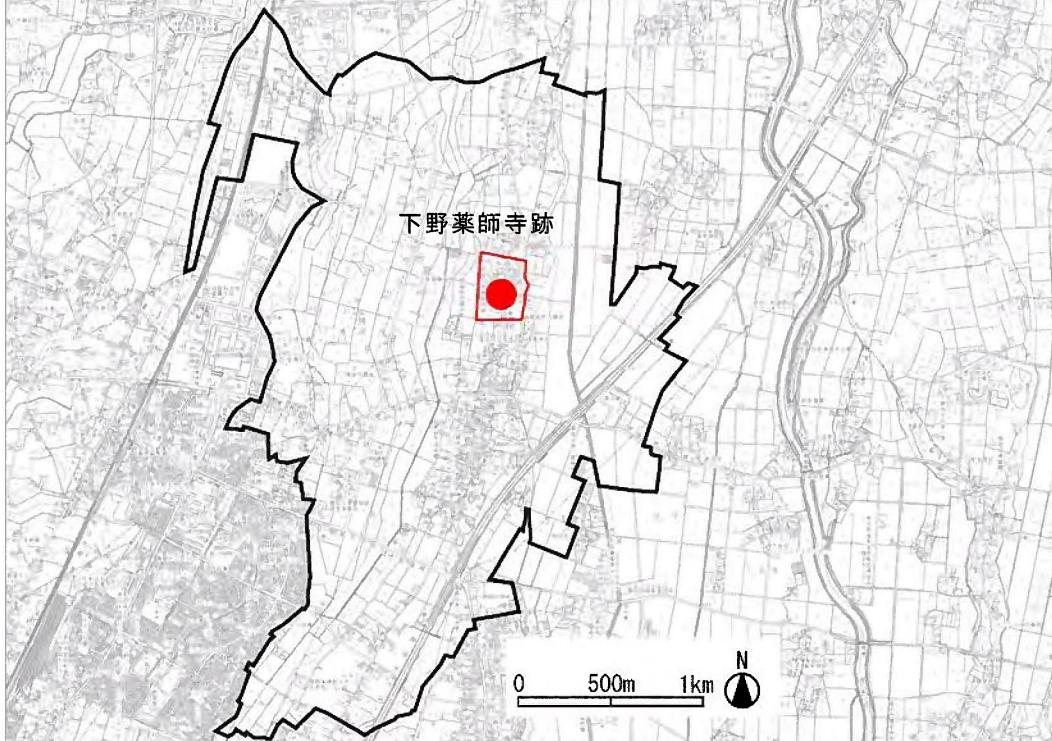


2. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業

(1) 地域の歴史を伝える文化遺産の保存・活用に関する事業

事業名称	1. 下野薬師寺跡保存整備事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028 年度
事業手法	国宝重要文化財等保存整備費補助金（2019-2028 年度）		
重点区域（薬師寺）	<p>重点区域（薬師寺）</p>  <p>下野薬師寺跡 ■：史跡下野薬師寺跡 ●：事業箇所</p>		
事業の位置図			
事業の概要	<p>発掘調査の結果に基づき、当時の伽藍の基壇の復元等を行うとともに、既整備範囲についても再整備事業を実施する。</p>  <p>下野薬師寺跡復元回廊</p>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>下野薬師寺は日本三戒壇のひとつとして、古代東国仏教の中心的な寺院として繁栄を極めていたが、現在その威容を見ることができない。これまでの整備事業は現在の主要伽藍の一部のみに限られているため、主要伽藍全体の基壇復元等を行うことにより、下野薬師寺が地域のシンボルとして認識され、市民の歴史的資源の保護継承に関する意識の向上が見込まれることから薬師寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	2. 史跡等公有化事業		
事業主体	下野市	事業期間	2020-2022 年度
事業手法	史跡等購入費補助金（2020-2022 年度）		
事業の位置図	<p>重点区域（薬師寺）</p> <p>下野薬師寺跡</p> <p>□ : 重点区域 ▣ : 史跡下野薬師寺跡 ● : 事業箇所（推定東門周辺地区）</p>		
事業の概要	史跡下野薬師寺跡の推定東門周辺地区の整備事業を実施するため、土地の公有化を行う。		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	東門周辺地区の公有化を行うことにより、これまで寺院地の広がりを理解することが難しかったが、既に整備を実施した箇所に加えて東門地区の史跡整備を行うことで、かつての広大な寺院の広がりを実感することができるようになる。これにより歴史的風致の保全を担う地域住民への意識向上につながり、薬師寺地区にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。		

事業名称	3. 下野国分尼寺跡保存整備事業		
事業主体	下野市	事業期間	2018-2020 年度
事業手法	国宝重要文化財等保存整備費補助金（2018-2020 年度）		
事業の位置図	<p>重点区域（国分寺）</p> <p>□：重点区域 ●：事業箇所</p>		
事業の概要	尼坊跡及び推定西門跡周辺の整備事業を実施する。尼坊基壇表示及び西門の位置の表示等とともに説明看板等の設置を行う。		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	下野国分尼寺跡は昭和 40 年代に整備事業が実施されているが、尼坊周辺の伽藍北側は未整備であることから、寺院の伽藍全体の理解や広がりがわかりにくい。そのため、整備事業を実施し伽藍全体の基壇復元を行うことにより、市民の歴史的資源の保護継承に関する意識の向上が見込まれることから、国分寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。		

事業名称	4. 地域の文化財の総合的な活用に係る基本計画（仮称）策定事業		
事業主体	下野市	事業期間	2018-2020 年度
事業手法	文化遺産総合活用推進事業（2018-2020 年度）		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	市内における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画である「文化財保存活用地域計画」の策定を行う。		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	「文化財保存活用地域計画」を策定することにより、国の登録文化財とすべき物件を提案できる等、未指定文化財を確実に継承する取り組みを推進することにより、歴史的風致形成建造物等についても保護を図ることができ、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

事業名称	5. 歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028 年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	<p>重点区域内（薬師寺、国分寺）</p> <p>薬師寺地区</p> <p>国分寺地区</p> <p>■ : 重点区域 □ : 史跡下野薬師寺跡</p>		
事業の概要	これまで十分に調査がされていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存図るために修理等を行う。		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	これまで価値が十分に認識されていなかった歴史的建造物を把握し調査するとともに、建造物を後世に伝えるために建造物等の保存修理等の支援を行うことにより歴史的風致の維持向上に寄与する。		

(2) 歴史的風致の認識向上・魅力発信に関する事業

事業名称	6. しもつけ風土記の丘資料館整備事業
事業主体	下野市
事業期間	2018-2020 年度
事業手法	国宝重要文化財等保存整備費補助金（2018-2020 年度）
事業の位置図	<p>重点区域（国分寺）</p>  <p>□ : 重点区域 ● : 事業箇所 (推定東門周辺地区)</p>
事業の概要	しもつけ風土記の丘資料館を下野市の埋蔵文化財の情報発信拠点として改修を行い、下野市の歴史を発信し理解を深めることのできる施設とする。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	本市の歴史的特徴を示す古墳時代以降、古代を中心とした史跡・遺跡等への理解を深めることのできる施設とすることにより、本市の歴史へ親しみを持つことができるとともに、歴史に親しむ市民の活動の場の充実を図り、国分寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名称	7. 学びの場活用事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	<p>重点区域（国分寺）</p>  <p>□ : 重点区域 ● : 事業箇所</p>		
事業の概要	<p>国分寺西小学校（平成31（2019）年4月1日に国分寺小学校に再編）校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収蔵・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史と文化を学び、体験する施設として活用する。</p> 		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>干瓢生産道具や農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の資料を収蔵・保管・展示施設を整備するとともに、体験事業を実施することにより、干瓢生産をはじめとした歴史文化への理解が深まり、国分寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	8. 天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業		
事業主体	下野市	事業期間	2020-2025年
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	天平の丘公園・下野国分寺位置図 天平の丘公園（赤線エリア） 及び 下野国分寺跡（青線エリア）		
			
事業の概要	<p>天平の丘公園については春の花まつり期間、国分寺跡については史跡愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。天平の丘公園の再整備により年間を通して来園者を見込むが、さらなる来園者の増加、併せて史跡地の周知及び積極的な活用を図るため、同地を活用したイベントを実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>天平の花まつり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>古民家カフェ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>国見山</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>国分寺跡基壇</p> </div> </div>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>天平の丘公園及び下野国分寺跡においてイベントを開催することで、多くの来訪者が国分寺地域を訪れる。来訪者にこの地が古くから下野国の中心地であったことを認識してもらうことで、史跡地への親しみを醸成し、国分寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	9. 歴史文化発信事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028 年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	<p>市の歴史的風致等を紹介するパンフレットの作成を行うほか、VR 等を活用した歴史的風致形成建造物等の復元等を行い公開し、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力の発信を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>古墳復元 CG 下野薬師寺復元 CG</p>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>地域の歴史文化の情報発信を行うことによって、歴史的風致の理解や意識の向上を図ることができ、児童・生徒の郷土への理解が深まるとともに、来訪者に対しても本市の魅力を伝えることができ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	10. ローカルガイド育成事業（文化財観覧ガイド養成事業）		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028 年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	<p>史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入等を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>養成講座 資料館での現地学習</p>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>地域の歴史文化を伝えるためのガイドの養成は、市の歴史的風致の魅力を来訪者等に伝えるとともに、自分たちの住む地域の歴史的風致を理解し、歴史的風致を担う一員としての自覚を生むことにもつながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

(3) 歴史と伝統を守り、継承する人々の活動に関する事業

事業名称	11. 民俗芸能・伝統行事継承事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	<p>市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>下古山星宮太々神楽</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワラデッポウ</p> </div> </div>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>市内に伝わる伝統芸能や民俗行事は下野市の風致を形成する重要な要素であることから、これらの調査を行い、保存・継承することにより歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

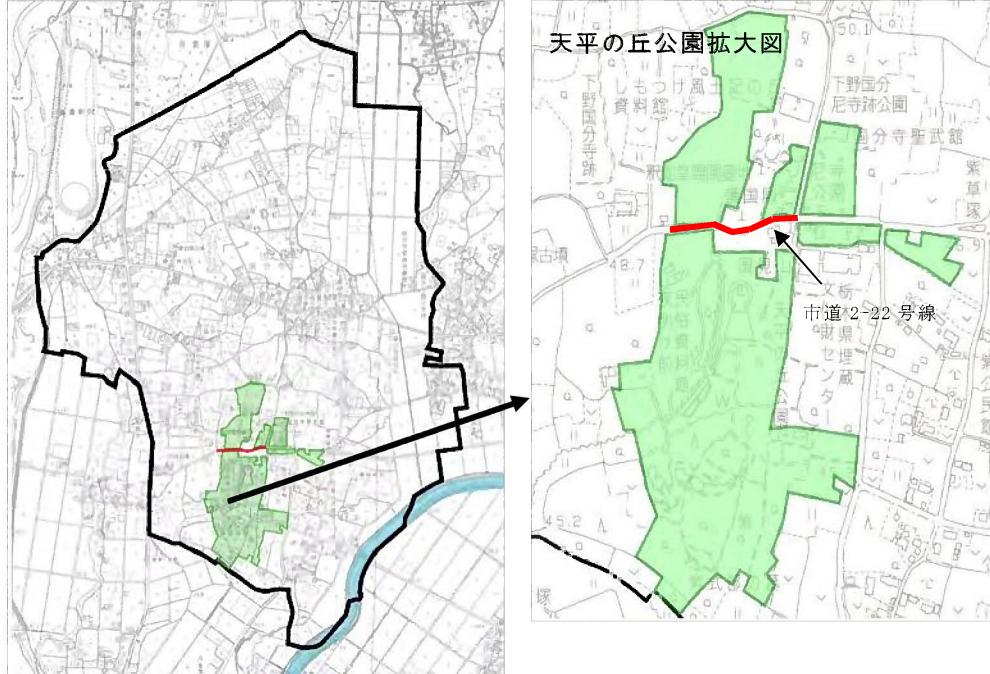
事業名称	12. 伝統文化体験事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028 年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	<p>市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等を継承するために、将来の担い手となる小・中学生等に対し、ワラデッポウ作りやお囃子、太々神楽等の体験事業を行う。</p> <p>また、次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化等を体験・習得できる機会を新たに設けることにより、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の掘り起こしを図る。</p>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内に伝わる伝統芸能や民俗行事は下野市の風致を形成する重要な要素であることから、体験事業を実施することにより、体験者をとおし情報の発信や普及の促進を図ることができ、これらの行事等に興味・関心を持つ者が増えることによって将来の担い手の育成につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

事業名称	13. 歴史学習事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028 年度
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	将来歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、博物館が連携した歴史学習事業の展開を図る。		
			
	<p>子ども歴史講座</p>		<p>資料館の見学</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	招来、歴史的風致の担い手となる小・中学生を対象に歴史や文化財の学習事業を行うことにより、子どもたちの歴史文化に対する理解が深まることになり、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

(4) 農地域の文化や伝統を支えた生業の継承・発展に関する事業

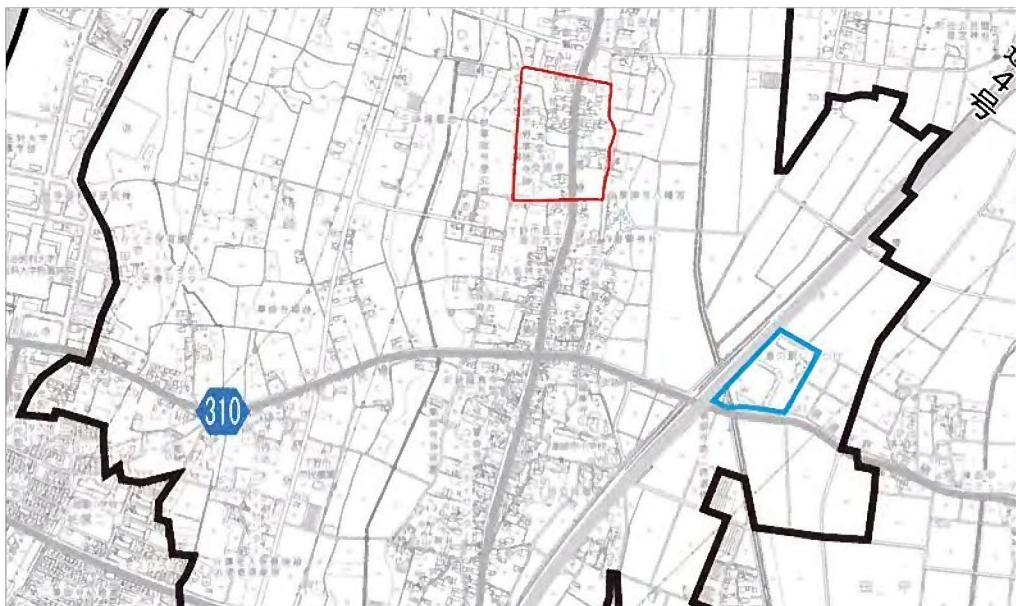
事業名称	14. 干瓢生産・消費推進事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028年
事業手法	市単独事業		
事業の位置図	市内全域		
事業の概要	<p>かんぴょう生産については、良質苗の提供や生産機械や施設整備への支援を行い、減少傾向にあるかんぴょう生産の維持拡大を図っていく。</p> <p>また、かんぴょうの消費については、毎年開催しているかんぴょうまつりやかんぴょう料理教室などの魅力発信に係るイベント等を開催し、消費拡大につなげていく。</p>		
			<p>干瓢を干すビニールハウス</p> <p>しもつけかんぴょうまつり</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>かんぴょう伝来 300 年という古い生産歴史と生産量日本一を誇る本市において、上記事業を行うことにより、生産意欲と消費意欲の向上を図ることが可能となり、干瓢生産にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	15. 干瓢生産道具保存活用事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2028年度
事業手法	市単独事業		
事業の概要	<p>干瓢の生産において、夕顔の実を剥く道具は時代とともに変遷し特徴的な変化があることから、これらの生産道具の調査を行い国の登録有形民俗文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。</p>  <p>干瓢むき (輪切り用 手回し機)</p>  <p>干瓢むき道具 (輪切り用手回し機)</p>  <p>干瓢むき出前事業</p>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	本市の特産品である干瓢の生産道具の保存活用を行うことにより、市民等の干瓢生産に対する理解が深まり、干瓢生産にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。		

事業名称	16. 天平の丘公園再整備事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019 - 2026 年度
事業手法	市単独事業		
事業の概要	<p>「天平の花まつり」の会場である天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザインなどを考慮した再整備を行う。</p> <p>また、公園内を横断する市道 2-22 号線についても、公園施設と合わせて再整備を行う。</p>		
	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>淡墨桜</p> </div> </div>		
事業の位置図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天平の丘公園位置図 <p>天平の丘公園（緑色の部分）及び公園内を東西に走る市道 2-22 号線（赤色線部分が施工予定箇所）</p> 		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>主に「天平の花まつり」の会場として活用されてきた天平の丘公園を再整備し、年間を通して市内外からの利用者増を図る。それらの人々が重点区域内にある下野国分寺跡や古墳などの史跡とふれあい、歴史・文化を感じながら周遊することで、国分寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

(5) 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の維持・向上に関する事業

事業名称	17. 景観計画の策定		
事業主体	下野市	事業期間	2020-2021年
事業手法	市単独事業		
事業の概要	<p>歴史的風致の維持及び向上を確実に推進していくため、以下の施策について検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31年度より景観団体へ移行 ・下野市景観計画（H33年度策定予定）における重点区域の位置づけ ・景観計画に基づき、屋外広告物条例を策定する。屋外広告物の積極的な誘導方策を検討する ・重点区域における建築物等の規制誘導について、区域住民への周知を図る 		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市に良好な景観形成に関する方針がないため、景観計画の策定により良好な景観の形成やサインや建築物等の誘導を行うことで、歴史的風致の維持向上に寄与する。		

事業名称	18. 薬師寺周辺駐車場等整備事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2026年
事業手法	市単独事業		
事業の概要	<p>すでに整備の進んでいる道の駅周辺に用地を購入し、駐車場を増設するとともに、交流施設の充実をはかる。</p>		
	 <p style="text-align: right;">道の駅しちつけ</p>		
事業の位置図	 <p>□：重点区域（薬師寺地区） □：史跡下野薬師寺跡 □：事業箇所</p>		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>薬師寺地区には下野薬師寺跡をはじめとした、歴史的風致が集中しており、新たな催しやPRの促進、新たな交流施設を増設することにより、より多くの来訪者が見込まれる。しかし、史跡内に駐車場を整備することは難しく、道の駅しちつけの駐車場も常に混雑した状況のため、道の駅に駐車場を増設し、薬師寺への玄関口とすることにより、史跡の適切な保存と集客を両立することができ、薬師寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	19. 下野薬師寺いにしえの道整備事業		
事業主体	下野市	事業期間	2019-2026年
事業手法	市単独事業		
事業の概要	<p>重点区域の核となる重要な文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺（旧安国寺）、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員確保による周遊空間の創出、及び歴史的情緒が体感できる道路への美装化による修景を進める。</p>  		
 			美装化（イメージ・明日香村）
事業の位置図	<p>下野市薬師寺跡周辺（市道4101号線、4100号線、4131号線、7009号線）</p> <p>重点区域：薬師寺地区</p> 		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>下野薬師寺とゆかりのある薬師寺（旧安国寺）、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶ市道の再整備により、多くの市民や来訪者が古の歴史・文化を感じながら回遊することにつながり、薬師寺地域にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>		

事業名称	20. 情報案内・説明板設置事業		
事業主体	下野市	事業期間	2020～2028年
事業手法	市単独事業		
事業の概要	    		
	<p>市内の説明板や誘導板については、旧町時代に設置したものも多く、設置した部署により表示内容やデザイン等でかなりの違いが生じて統一感に欠けるため、今後、策定予定の景観計画で統一した表示内容やデザイン等を検討し、景観計画に基づき設置する。</p>		
事業の位置図	市内全域		
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	情報案内・説明板を統一した表示内容やデザイン等にすることにより、来訪者の回遊性や情報の提供を向上させることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。		